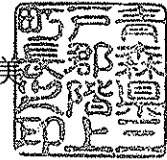


階産建発第 386 号
平成 19 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 殿

階上町長 浜 谷 豊 美



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について (回答)

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 1 1 4 号で依頼のあった標記の件
について、別紙のとおり回答します。

☆今後の道路政策や道路の整備・管理について

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

1. 生活幹線道路整備の必要性について

当町は青森県の最東南端に位置し、山(臥牛山)と海(三陸海岸)に囲まれた、緑豊かな町であります。

近年は、地方拠点都市八戸市のベットタウン化により、急激な人口増が進んでいます。そのため、生活基盤整備が遅れ、砂利道によるほこりや道路排水施設を含めた未改良路線(改良整備率:59.9%)が、数多く残されております。

当町における移動手段は、殆どが自動車交通であり、道路は通勤通学(八戸市への労働者人口率:54%)はもとより、今後ますます進むであろう高齢化社会、緊急車両の通行もままならない未整備区間の早期整備が行政の最重要課題であります。また、海を持つ当町では、地震・津波対策も重要であり、国道45号までのアクセスとなる町道は、緊急避難又は輸送道路としての位置付けとなり、大災害時の対応として緊急な整備が望まれます。

町民の生活向上及び安全対策の施策が今求められています。

2. 幹線国道・県道の整備について

当町を横断する一般国道45号は、拠点都市八戸市を結ぶ幹線であり、町民の通勤通学はもとより医療機関を含めた防災としての機能を持ち、無くてはならない幹線道路であります。近年交通量の増大が激しく、特に八戸市境付近の交通渋滞が酷く、多くの住民より「早期の4車線化」の声をよく聞きます。また、町を横断するもう一つの幹線である、主要地方道名川階上線の整備も望まれております。当路線は、山手地区を縦断しており、唯一の定期バス路線でもあります。冬期間は多雪地帯であり、特に凍結箇所が多くあります。未改良区間をはじめ、急カーブ・交差点改良等の整備を進めることにより、冬期間交通の安全安心につながると考えます。町の幹線である国道45号とのアクセス道路として、産業経済を結び、人と物を運ぶ地域の幹線道路の、早期整備を強く望みます。

3. 高速交通体制の早期整備について

当町において現在、八戸久慈自動車道の整備が着実に進められています。これも国土交通省をはじめ、関係各位に感謝しているところであります。山と海の自然に育まれ実った、多くの地場産品(階上早生そば・長ネギ・鶏卵・ウニ・アワビ・鮭など)が高速道路を利用し、価値の高い中央へと運ばれることにより、町民の生活向上につながることはもちろん、多くの物流と交流が、更なる町発展へとつながることを強く、望んでおります。

当町は、「種差海岸階上岳県立自然公園」に指定されております。北三陸沿岸の一市町村として、国が進めております「三陸縦貫自動車道、三陸北縦貫道路」等の整備が進むことにより、全国に対し我々が誇れる、階上町の素晴らしい自然と多くの食材を発信できると考えます。今後の広域行政を視野に入れ、全国へと階上町を発信します。

○効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

1. 住民に対するPRの充実について

現在整備が進んでいる、高速道路や国道・県道の幹線道路の整備状況及び、今後の予定等をわかりやすい形で、住民へ公表することにより事業への理解協力を得られるのではないのか。よく住民から「いつつながるの、後何年かかるの?」とよく聞かれます。整備中路線の早期完成を進める上で、予算の重点配分が不可欠であり、住民への何ヵ年計画という公表により、確実な効率化が図られると考えます。

○その他、道路政策や道路の整備・管理全般について

1. 地方の小規模町村においては、公共交通体制の遅れにより、道路が生活の基本となっている。国道・県道のいわゆる、幹線道路の整備は、地方から中央を結ぶ、生活道路であり、経済や人々の交流をもたらす、地方には無くてはならない公共施設であることから、順次整備を進めて頂きたい。

2. 町村の財政は極めて厳しい状態であるなか、道路特定財源の一般財源化を進めれば、ますます、地方の道路整備は遅れるものである。地方にとって道路整備の必要性を中央の皆様にご理解頂き、改めて、道路特定財源の一般化に反対するものである。

《 青森県 階上町 総合振興計画 基本理念 》

『 ゆめ みらい 心ときめく ふるさとづくり 』

階上町長 浜谷 豊美